（財）日本ハンドボール協会公式記録用紙

スローオフ　B

A	県立下松工業高等学校	茨城県立藤代紫水高等学校	B

大会名	平成２３年度第３５回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

平成 24 年 3 月 27 日（火）　場所　岩手県花巻市　花巻市総合体育館

種別	高校男子	回戦	第３回戦

24　（10 — 15 / 14 — 13）　28　　7mTC

A 高杉祐介　　滝川一徳 B

A 県立下松工業高等学校	警告	退場	失・追	チームタイムアウト 前半	後半
役員A 高杉祐介				13 : 19	24 : 05
役員B 秋定真樹					
役員C 藤井寛之				得点	
役員D 中原萌				前半 後半 延1 延2 7MT 計	
1 田村政人					
2 佐竹叶多				3 2	5
3 石丸翔太				1 1	2
4 大久保洋		／		2 7	9
5 大和新					
6 兼重優気				3	3
7 難波隆太				1 4	5
8 ~~廣谷凌太~~					
9 ~~藤村清吾~~					
10 八木拓也					
11 矢野勇人					
12 佐藤良哉					
13 河本貴裕					
14 北村健太郎					
合計	0	1	0	10 14	24

B 茨城県立藤代紫水高等学校	警告	退場	失・追	チームタイムアウト 前半	後半
役員A 滝川一徳				28 : 56	:
役員B 小倉慶輔					
役員C 尾中祐二				得点	
役員D 小久保大空				前半 後半 延1 延2 7MT 計	
1 小林佑弥					
2 立野省吾					
3 木村優太				2 3	5
4 山内雄太		／			
5 今野利彦				5 7	12
6 相澤祐太				8	8
7 池田飛鳥		／		2	2
8 長谷川良介				1	1
9 幕内隆浩					
10 吉田昇太					
11 野澤颯					
12 今野貴透					
13 舘野真人					
14 海老原貴史					
合計	2	0	0	15 13	28

タイムキーパー	柏	舘	秀一
スコアラー	木	村	裕貴
マッチバイザー	大	房	重則
審判	臼	井	健
審判	大	石	剛

A 背番	A 結果	A 得点	前半 時間	B 得点	B 結果	B 背番
4		1	0:53			
			1:06	1		6
			1:39	2		5
4		2	2:04			
			3:00		W	7
6		3	5:13			
			5:41	3		5
			6:49	4		3
6		4	7:33			
			8:05	5		5
			9:14	6		5
2		5	9:38			
			10:54	7	○	6
			11:25	8		6
			12:23	9		6
			13:10	10		3
	T		13:19			
			14:36	11		6
			15:53		W	4
2	○	6	15:57			
6		7	16:39			
			17:08	12		5
			18:18	13		6
3		8	21:05			
7		9	22:12			
			24:50	14		6
2	○	10	26:01			
			28:56		T	
4	S		29:30			
			29:51	15		6
10			-	15		

A 背番	A 結果	A 得点	後半 時間	B 得点	B 結果	B 背番
			0:38	16		5
			1:23	17		3
7		11	2:08			
3		12	3:36			
			4:39	18		5
4		13	5:07			
4		14	7:21			
			11:11	19		3
2	×		12:18			
4		15	13:30			
			14:01	20		5
7		16	14:23			
			14:33	21		5
			15:01	22		7
			16:09	23		3
4	○	17	16:41			
4	○	18	18:46			
2		19	20:12			
7		20	22:54			
	T		24:05			
			24:39	24		5
			26:11	25		5
			26:49	26		8
4		21	26:59			
7		22	28:44			
			29:18	27		7
4		23	29:39			
			29:54	28		5
2		24	30:00			
24			-	28		

結果欄略号

W － 警告　　○ － ７Ｍスロー得点

S － 退場　　× － ７Ｍスロー失敗

D － 失格　　T － チームタイムアウト

E － 追放

戦評（記入者）

藤代紫水は、固い守りから速攻やミドルで得点を重ねるのに対し、下松工業は大久保の力強いポストプレーで対抗。前半の中盤に藤代紫水が５点連続得点し優位に立って試合を進めた。後半も点の取り合いになるが、今野，相澤の1年生コンビが２０得点の活躍で点差は縮まらず、そのまま藤代紫水が勝利した。（柏舘秀一）